

2026年3月13日

報道機関 各位

日本赤十字社  
独立行政法人国際協力機構  
公益社団法人日本理学療法士協会

## 「紛争下での、こころとからだのリハビリテーション」 ウクライナ人道危機から4年 シンポジウムを開催 3月18日(水)17:00 対面およびオンラインで実施

日本赤十字社（以下、「日赤」）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）および公益社団法人日本理学療法士協会（JPTA）と共同で、2026年3月18日(水)に「紛争下のウクライナにおけるリハビリテーション支援」をテーマにした一般向けのオンラインシンポジウムを開催します。

4年を超えるロシアとウクライナの紛争により、現地では兵士や民間人の負傷者が増え続けています。さらに、避難生活の長期化や医療体制の混乱により、一般疾病に伴うリハビリテーションのニーズも高まっています。一方で、現地では十分な医療を提供できる医療施設や医療従事者が不足し、こころとからだのリハビリテーションを受けられる仕組みも十分に整っておらず、人びとの健康を脅かしています。

今回のイベントでは、紛争の影響により苦しんでいるウクライナの人びとの現状に焦点を当て、日本と現地でリハビリテーション支援に携わる各団体からこれまでの活動報告を行うとともに、リハビリテーションの専門家が一同に会し、紛争下における支援の難しさ、ウクライナにおけるリハビリテーションの課題、日本から提供できる知見や今後の支援の鍵となる活動などに関するディスカッションを行います。

イベント終了後には、別途囲み取材のお時間も設けておりますので、この機会にぜひご取材ください。



現地でリハビリテーションに関する研修を補佐する日赤職員（中央）



現地語に翻訳された理学療法ハンドブック



ウクライナの理学療法士を受け入れ、研修を行う兵庫県立リハビリテーション中央病院の職員

## — 開催概要 —

### 1 日時および内容

2026年3月18日（水） 17:00～19:00

<タイムテーブル（予定）>

17:00～ 開催挨拶

17:05～ 活動報告（各団体15分）

ウクライナにおけるリハビリテーション支援の取り組み

- ・ウクライナのリハビリテーションの現状と現地の声
- ・日本への理学療法士受け入れ
- ・日本からの理学療法士派遣の概要 など

17:50～ パネルディスカッション

紛争下でのリハビリテーションの課題、日本との環境の違い、今後の支援の展望 など

18:30～ メディアの方による囲み取材

※メディアの皆様からのご質問はパネルディスカッション終了後にお受けします。

### 2 開催方法

対面およびオンライン（Microsoft Teams）

※一般の方々は、オンライン参加のみとなります。

※メディアの皆様は、「配信会場での対面ご取材」または「オンラインでのご取材」のいずれかの方法で参加いただけます。

※オンライン参加のメディアの皆様も、囲み取材にオンラインで参加いただくことが可能です。

### 3 会場

JICA 緒方研究所 セミナールーム 201（東京都新宿区芝市谷本村町 10-5）

### 4 登壇者（予定）

#### 【活動報告】

- ・公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士 伊藤智典氏
- ・独立行政法人国際協力機構 国際協力専門員（医師） 磯野光夫氏
- ・日本赤十字社 ウクライナ現地代表部 芳原みなみ

#### 【パネルディスカッション】

- ・公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士 峯島昂佑氏
- ・独立行政法人国際協力機構 国際協力専門員（医師） 磯野光夫氏
- ・兵庫県立リハビリテーション中央病院 理学療法士 延本尚也氏
- ・武蔵野赤十字病院 理学療法士 平野亨子

## 【進行】

・日本赤十字社 事業局国際部国際救援課 片岡昌子

※全ての登壇者にご取材いただくことが可能です。

## 5 ウクライナでのリハビリテーション分野における各団体の活動概要

### 【公益社団法人日本理学療法士協会】

日本における理学療法士の職能・学術団体として日本の理学療法士の知識や技術の向上を図る中、ウクライナの理学療法士らとの情報交換、日本の理学療法ハンドブックの翻訳等を通じた協力、「笑顔をあきらめない」写真コンテストやオンラインイベントにおいて、ウクライナでの活動の情報提供など実施。

### 【独立行政法人国際協力機構】

日本の政府開発援助実施機関として様々な国際協力活動を展開する中、ウクライナのリハビリ分野においては、現地へのリハビリ機材の供与や、リハビリテーション人材の国内研修受入（兵庫県立総合リハビリテーション中央病院にて受入）などを実施。

### 【日本赤十字社】

世界 191 の国と地域に存在する赤十字機関の一つとして様々な人道支援活動を展開する。ウクライナにおいては、国際赤十字およびウクライナ赤十字社と協力し、現地に職員を派遣してリハビリ人材育成などを実施。

## 6 申し込み方法

報告会のご取材／ご視聴をご希望の方は、以下 URL または二次元コードよりお申込みください。

登録完了後、メールにて当日のご案内をお送りいたします。

URL：<https://forms.office.com/r/gvAy3jMBTf>

締め切り：3月18日（水）12：00



## 7 【参考】日赤のウクライナ人道危機救援事業

### ■「ウクライナ人道危機救援金」の受け付け

ウクライナ人道危機救援事業を実施するため、2022年3月2日から「ウクライナ人道危機救援金」を募集し、2026年1月末時点で約100億円を受け付けた（受付期間：2027年3月31日まで ※延長の可能性あります）。

国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）と赤十字国際委員会（ICRC）に対して、周辺国を含む避難地域および紛争地域で実施する赤十字の救援活動のため、これまでに50億2000万円の資金供与を行った（2026年2月現在）。

### ▼ウクライナ人道危機救援金（WEB サイト）

<https://www.jrc.or.jp/contribute/help/ukraine/>

## ■ウクライナ赤十字社との二国間事業の実施

ウクライナ西部地域を主な対象として、予算規模約 45 億円で、これまで以下 4 分野において計 11 事業を実施している（2025 年 12 月現在。既に完了した事業や今後予定している事業を含む）。

また、現地代表部（首都キーウ）を設置し、職員を派遣して事業の管理を行うとともに、国際赤十字と連携を図っている。

### ①保健医療分野

巡回診療支援、リハビリテーションセンター支援、訪問リハビリテーション支援

### ②社会福祉分野

コミュニティセンター支援、在宅ケア支援

### ③緊急支援分野

救急車支援、緊急対応基金支援、厳冬期対策支援、現金給付支援、緊急対応チーム支援

### ④組織強化分野

ウクライナ赤十字社組織強化支援

### ▼ウクライナ人道危機救援事業（WEB サイト）

[https://www.jrc.or.jp/international/results/ukraine\\_jrcs.html](https://www.jrc.or.jp/international/results/ukraine_jrcs.html)

- ・日赤の理学療法士によるリハビリテーション分野での技術支援の様子



# Press Release



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



・日赤がウクライナ赤十字社と行う支援活動の例



巡回診療支援（イヴァノ＝フランキウスク州）



リハビリテーションセンター支援（リヴィウ州）



救急車支援



緊急対応基金支援



厳冬期対策支援



現金給付支援

このリリースについてのお問い合わせ

日本赤十字社 広報室（メディアの方へ） <https://www.jrc.or.jp/media/>